

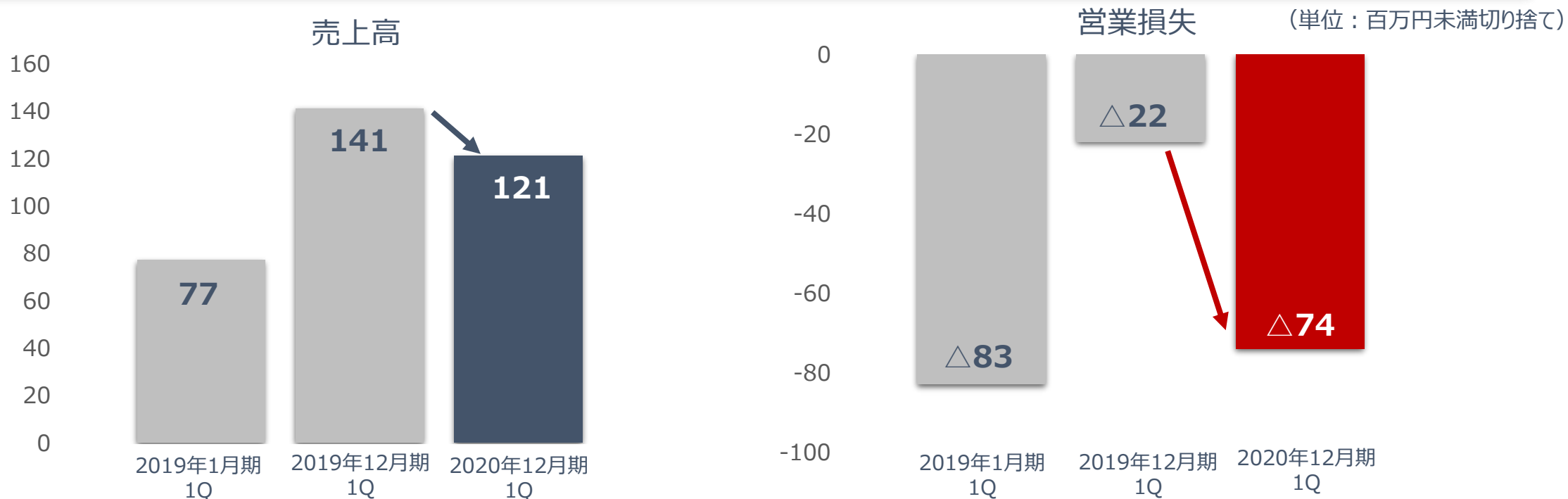
<第1四半期>
決算補足説明資料
2020年12月期

<JASDAQグロース 証券コード：4764>

2020年5月14日
SAMURAI&J PARTNERS株式会社

連結業績推移

- ✓ 2020年12月期1Qの連結売上高は、**121百万円**（前年同期比85.7%）と**20百万円の減収**となりましたが、これは主に、前期ではITサービス事業において大手自動車メーカーの大型受注や新元号対応、消費税率変更対応などの特需により売上が伸長したためです。
- ✓ また、営業損失は**△74百万円**となりましたが、これは、投資銀行事業の体制強化による人員増加やサービス向上を目的としたシステム投資が先行しているためです。
- ✓ 依然として厳しい環境下は続きますが、今後も環境に順応し必要な対策を継続してまいります。



※2019年12月期より決算期（事業年度末日）を変更しております。

セグメント別業績-投資銀行事業

(単位：百万円未満切り捨て)

	2019年12月期 1Q	2020年12月期 1Q	前年同期比 増減額
売上高	64	62	△2
営業損益	8	△24	△32

- ✓ 2020年12月期1Qにおける投資銀行事業の業績は、売上高は**62百万円**と前年同期と同程度で推移しましたが、営業損失は**△24百万円**となりました。
- ✓ 赤字に転じた主な要因は、体制強化のために採用を積極的に行ったことや業務委託費の拡大によるものです。また、クラウドファンディング分野におけるサービス向上を目的としたシステム開発等の先行投資が要因です。
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響としては、「SAMURAI FUND」の新規会員登録数は減少傾向にありますが、影響は軽微であります。

セグメント別業績-ITサービス事業

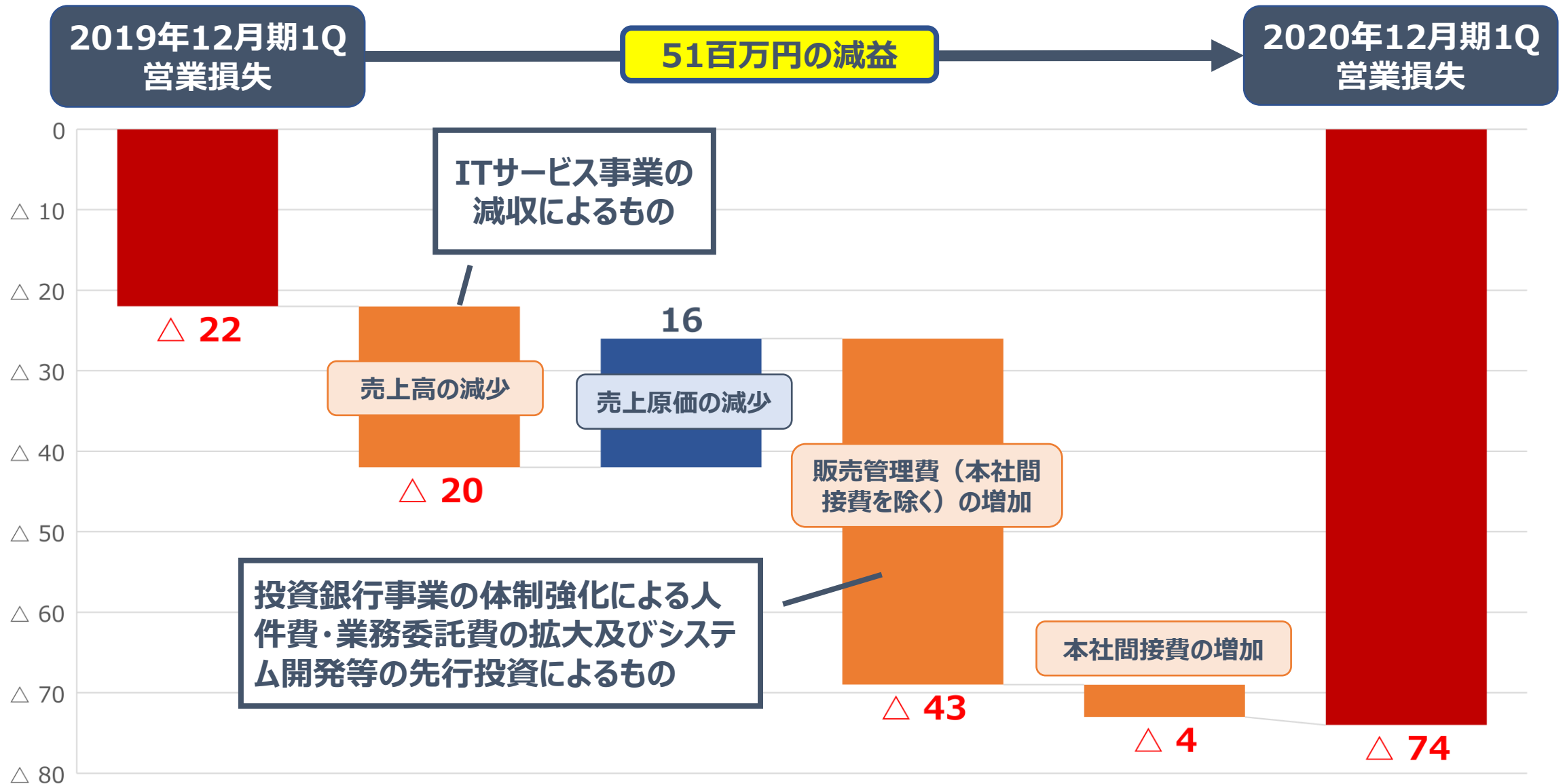
(単位：百万円未満切り捨て)

	2019年12月期 1Q	2020年12月期 1Q	前年同期比 増減額
売上高	77	58	△19
営業利益	33	13	△20

- ✓ 2020年12月期1QにおけるITサービス事業の業績は、売上高は**58百万円**と**△19百万円の減収**となりました。
- ✓ これは主に、前期では大手自動車メーカーの大型受注や新元号対応、消費税率変更対応などの特需により売上が伸長したためです。
- ✓ 営業利益においても上記の事由により、前年同期比**△20百万円の減益**となりました。
- ✓ 現状、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への直接的な影響はなく、マイナス要因が発生したものではありません。

営業利益増減分析-対前年同期比

(単位：百万円未満切り捨て)



本資料に関する問合せ窓口

経営管理部 IR担当

問合せページ : https://www.sajp.co.jp/ir_inquiry/